

ビジネスを支え広げるソリューションパートナー

電気と保安

2014/7・8月号 No.462

published by

一般財団法人 関西電気保安協会

今号のTopics

KANSAI



プロバスケットボールで地域活性化!
地元企業が夢を託す「バンビシャス奈良」

business
eyes

100%神戸産ブドウでつくる神戸ワイン
高品質にこだわり神戸ブランドの底上げに貢献
一般財団法人 神戸みよりの公社 神戸ワイナリー(農業公園)

保安レポ

小動物接触による停電事故の対策

近くていい旅
近畿ぶらり旅

豊かな自然に恵まれた食と歴史のまち
[福井県小浜市]



プロバスケットボールで地域活性化！ 地元企業が夢を託す「バンビシヤス奈良」

昨年7月、奈良県にプロバスケットボールチームが誕生しました。その名も「バンビシヤス奈良」。子鹿の「バン」や「The ambitious（大志を抱け）」をかけた造語がチーム名です。地域がひとつにまとまることのできるプロスポーツエンターテインメントの創造、地域の活性化、子供たちに夢を与えることなどを理念に掲げ、2013ー2014シーズンからbjリーグに参戦。プロスポーツ不毛の地といわれた奈良で初のプロチーム誕生に、地元のファンは温かい声援を送っています。

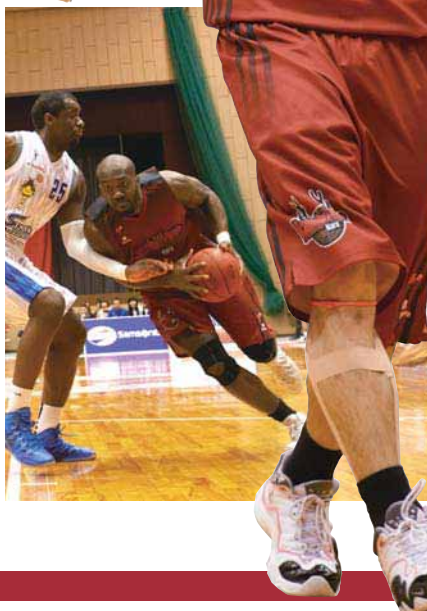
「奈良にプロバスケットボールチームをつくる」という大志を出発点に、ホーム最終戦には約2,400人のファンを集めるまでに成長したチームの軌跡や今後の展望について、チーム代表を務める株式会社バンビシヤス奈良代表取締役の加藤真治氏にお話を伺いました。

「おらがまちのチームとして、ブースターと一緒に成長していきたい」と熱く語る株式会社バンビシヤス奈良代表取締役の加藤真治氏。

迫力あるスピーディな試合展開 世界中で愛されるバスケットボール

野球やサッカーに比べるとマイナーなイメージのバスケットボールですが、国際バスケットボール連盟(FIBA)の調査によると、競技人口は約4億5,000万人以上。世界中で愛され、プレーされているスポーツです。日本国内でも、現在の登録競技者は約62万人。体育の授業や学校のクラブ活動などでプレーしたことのある人も多いのではないのでしょうか。

2005年には、日本初のプロバスケットボールリーグ「bjリーグ」が発足しました。当初は6チームでのスタートでしたが、新規参入チームが年々増え、現在、関西のバンビシヤス奈良、滋賀レイクスターズ、京都ハンナリーズ、大阪エヴェッサを



背番号16は笠原太志選手。稲垣諒選手とともに奈良県出身です。地域密着型のチームを志向する加藤代表の思いは、選手構成にも表れています。

含む全国21チームが参加しています(来シーズンから22チームの予定)。身長2メートルを超える選手が華麗にジャンプシュートを決める瞬間、攻守が目まぐるしく入れ替わるスピーディな試合展開、ゴール前での激しい肉弾戦は観る者の心を熱くさせます。また試合中も絶えずノリの良い音楽が流れ、MC(司会)と観客が一体となってチームに声援を送り、オープニングやハーフタイムにはダンスチームの華やかなパフォーマンスやチームキャクターが会場を彩るなど、エンターテインメント性は抜群。バスケットボールにあまり詳しくない人でも十分楽しめるショー演出もプロバスケットボールの大きな魅力となっています。

かんさいげんきだま

KANSAI元気魂

関西のパワフルなプロジェクト・ヒト・マチ・モノを紹介し
読者に「元気魂」を注入します

「ふるさと奈良にプロチームを」 夢の実現に向けてゼロからのスタート

そもそも、なぜ奈良にプロバスケットボールチームをつくらうと思われたのでしょうか。大学の時代の友人に誘われ、bjリーグ発足時から「仙台89ERS(エイティナイナーズ)」の創設に参加していた加藤氏は、「仙台の人々がプロ

【bjリーグ】 2005年に開幕した日本初のプロバスケットボールリーグ。「イースタン・カンファレンス」と「ウェスタン・カンファレンス」に分かれ、それぞれの上位6チームがプレイオフ(決勝トーナメント)に進出できる。

【ブースター】 bjリーグでは、ファンのことをブースターと呼ぶ。booster=「援助者、熱狂的な支持者」の意味。

【シーズン】 公式試合が行われる期間を指し、bjリーグでは10月～5月。



チームを誇りに思い、迫力あるプレーに子供たちが目を輝かせ、バスケットボールを通して地元愛を深めていく姿を目の当たりにし、故郷の奈良にもプロチームがあればという思いが日増しに強まってきました」と振り返ります。

ちょうどその頃、奈良でも有志たちがプロチームをつくらうと動いていました。しかし、中核となるスポンサー企業が見つからず、bjリーグに参入申請を出したものの認められないまま、活動は休止状態に。

「発足当初のbjリーグは、4,000～5,000人収容の会場や大口スポンサーの確保など、新規参入条件が非常に厳しかったのです。しかし、リーグ運営が進むなかで、会場規模は2,000人以上収容に緩和され、大口スポンサーの獲得も条件から外されて、これなら奈良でもいけると思いました」。

そこで、2011年1月には地元有志と改めて「奈良にプロバスケットボールチームを



バンビをイメージしてデザインされた「シカッチェ」は、試合会場はもちろん、イベントでも引っ張りだこの人気者です。



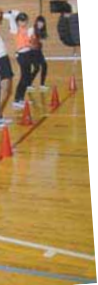
チームを盛り上げるオフィシャルダンスチーム「バンビーナス」。

つくる会」を設立。スポンサー探しを

開始したものの、それまで仙台に住んでいた加藤氏に地元企業との接点はありません。話を聞いてもらうこと自体が簡単ではないゼロからのスタートでしたが、1社決まるとそこから輪が広がり、紹介などもあつて次のスポンサー契約につながっていったといいます。「横のつながりの深い老舗企業・店舗の多い奈良の力を感じましたし、結果的には大口スポンサー1社の色に染まるよりも多数の地元企業の支援をいただけたことがおらがまちのチームかという地元の皆さんの意識につながったと思います」。翌12年には中小企業を中心に約60社のスポンサー企業を獲得、見事bjリーグ加入を果たしました。



試合時間以外も目が離せません!



試合後の`タッチ。が選手とファンのところをつなぎます。

ファンと一緒に成長していく 若さが魅力の選手たち

地元の人々のプロチームへの期待は大きく、ホーム初の試合にはチーム側の予想を大きく上回る2,426人が会場に足を運びました。バンビシヤス奈良の選手は11人中10人が20代。平均年齢25歳はリーグ最年少です。「ファンの皆さんには若さを生かしたスピード感のあるゲームを楽しんでもらいたい」と加藤氏は考えます。初シーズンは開幕戦から8連敗と厳しいスタートを切りましたが、後半は勝率を上げ、選手やチームの成長が感じられるシーズンとなりました。遠山向人ヘッドコーチは、「プレイオフ進出の可能性がなくなった後も、毎試合たくさんのブースター(ファン)が応援に来てくれて、僕たちは本当に幸せです。この温かい声援に選手一人ひとりの成長で応えていきたい」と来シーズンへの意気込みを語ってくれました。

熱い応援! ブースターはチームの6人目の戦士です。



コートで、地域で、あの手この手 徹底したファンサービスを実施

バンビシヤス奈良では、ブースターはコート上の5人の選手とともに戦う「6人目の戦士」。より多くのブースターを獲得するため、さまざまなファンサービスを実施しています。オフインシャルダンスチーム「バンビナス」によるパフォーマンス、チームキャラクター「シカッチェ」とのふれあいのほか、試合前には選手サイン会や会場一体となった応援練習、試合終了後には選手全員がコートを一周しながら観客とハイタッチをして交流します。試合時間以外はコートをダンスや太鼓、空手など、地元で活動している多彩なグループ、団体のパフォーマンスステージとして提供。まさに、あの手の手で観客を楽しませる努力を惜しみません。「ともに奈良を盛り上げよう」と共感を寄せる

奈良出身の著名人も多く、河瀬直美映画監督はチームのプロモーション映像を監督、ソチ五輪銅メダリストのスノーボーダー平岡卓選手もホーム最終戦の応援に駆け付けました。

子供たちとの交流も大切にしており、「バスケットボール教室」開催や、「学校訪問」にも力を入れています。「子供たちの憧れとなることは選手にとっても大きな励み。ふれあいのなかで彼ら自身も育ててもらっています」。地域のお祭りやイベントにも、より積極的に出向いていきたいとのこと。

バンビよ、大志を抱け! プレイオフへの夢をパートナーと共に

初シーズンを9位で終えたバンビシヤス奈良。「まだまだ未熟なバンビというべきチームですが、早くプレイオフ争いができる強いチームに



育てていきたい」と熱く語る加藤氏。そのためには選手一人ひとりの練習の質を高めていくことはもちろん、モチベーションを上げられる報酬や環境整備が必須。スポンサー探しはチーム運営の最重要課題のひとつです。とはいえ、大企業の少ない地方都市で大口スポンサーを獲得するのは極めて困難。バンビシヤス奈良では、奈良を共に盛り上げていく「パートナー」として、地元の中小企業を中心とする法人会員を募集しています。ゴールド法人会員は、年会費10万円。より手頃な年会費3万円のレギュラー法人会員もあり、それぞれに盛り沢山な特典付き。現在、バンビシヤス奈良のパートナー企業

ゴールド法人会員



〈年会費10万円〉

- ・企業団体店名入りタペストリーの掲出
- ・パートナー企業一覧への表示
- ・オフィシャルHPに企業団体店名を掲出
- ・サポートカンパニーバナー使用権、自由席チケットなど会員特典がいっぱい! 詳しくはHPをご覧ください。



企業団体店名入りタペストリー〈見本〉



左より笠原選手、加藤代表、稲垣選手、山城キャプテン

株式会社バンビシヤス奈良
〒630-8222
奈良県奈良市餅飯殿町5
奈良もちいどのビル2階
Tel.0742-20-1800
<http://www.bambitious.jp/>



パートナー企業のフラッグがにぎやかな公式戦。



学校訪問で子供たちと楽しく交流。



は約120社を数えますが、年間2〜3億円必要とされるチーム運営費を賄うには、まだあと100社近くが必要とのこと。スポンサーの最大のメリットは「社員の誇らしい笑顔」。

プロバスケットボールの二試合の集客力は多くても2,000人前後、メディアへの露出も少しずつ増えている段階ですが、「所懸命奈良を盛り上げますので、ぜひ応援してください」というお願いに、「バスケットボールのことはよくわからないが、

胸に、バンビは力強く走り出しています。

会場ではさまざまなチームグッズが人気です。

地域に貢献できるなら」と、快諾してくれる企業が思った以上に多いとのこと。奈良には規模は小さくとも歴史のある老舗企業が多く、経営トップは地元の活性化に関心が高いそうです。

パートナー企業からの二番の評価は、「社員たちが喜んでくれている」こと。試合会場で自社名入りのフラッグを見つけ家族に自慢できた、自分の働いている会社がバンビシヤス奈良を応援していることが誇らしいなど、「お金に換算できないメリット。よくつくってくれた」と喜びの声が届きます。地元ファンやパートナーの熱い期待に応えるためにも、10月にスタートする来シーズンは前回以上のパフォーマンスと成績を！さらなる「大志」を

100%神戸産ブドウでつくる神戸ワイン 高品質にこだわり神戸ブランドの底上げに貢献

本コーナーは、当協会のお客さまにご登場いただき、主力事業についてご紹介いただきます。
今回訪れたのは、一般財団法人神戸みりのの公社を母体とする「神戸ワイナリー（農業公園）」さま。
ブドウの栽培からワインの醸造・販売までを一貫して行う国内有数規模のワイナリーとして、
年間30万本以上の良質なワインを製造し、神戸の主力ブランド商品として成長を続けています。
開園から今年で30周年を迎える神戸市西区の「神戸ワイナリー（農業公園）」を
ご案内いただきながら、純神戸産にこだわったワインづくりについてお話を伺いました。



一般財団法人 神戸みりのの公社
神戸ワイナリー（農業公園）

お問い合わせ先：
〒651-2204 兵庫県神戸市西区押部谷町高和1557-1
TEL:078-991-3911
<http://www.kobewinery.or.jp/>



私たちは、神戸ワイナリーでワイン用ブドウの栽培・ワインの醸造を行い、「神戸ワイン」のブランドで商品展開しています。日々ワインづくりと向き合い、新たなニーズに対応した高品質の商品を開発する私たちの取り組みをご紹介します。

[案内役]
ワイン事業部ワイン事業課 栽培リーダー 安居 俊和さん

農業振興の二環としてワイナリーを開園
自然豊かな市民の憩いの場に

一般財団法人神戸みりのの公社では、海と山に恵まれた神戸の農業振興に関する事業を展開しており、ふれあいの場として「神戸ワイナリー（農業公園）」「六甲山牧場」「須磨海づり公園」「平磯海づり公園」「フルーツフラワーパーク」の運営を行っています。

神戸市西区の自然豊かな小高い丘に位置する「神戸ワイナリー（農業公園）」では神戸産ブドウ100%を使用したワインを製造し、「神戸ワイン」のブランドで商品を展開しています。31ヘクタール（甲子園球場約8個分）の敷地内には、ワイン専用ブドウ農園や見学可能な醸造施設、神戸ワインが購入・試飲できるワインショップなどがあり、中央広場では毎年秋の収穫期に「新酒まつり」を開催し、多くの人出で賑わいます。さらにワイナリーカフェや陶芸教室も備え、バーベキュー場では、丘陵の緑を眺めながら神戸ワインとバーベキューを楽しむことができます。季節の花々が咲き誇る自然豊かな園内は、地域の方々の散歩コースとなっており、芝生の多目的広場ではご家族連れがお弁当を広げて子供たちを遊ばせるなど、憩いの場として親しまれています。



**神戸産ブドウのみを使用した
「神戸ワイン」のこだわりと誇り**

「神戸ワイン」はその名の通り、神戸産のブドウのみを使用して醸造したワインです。輸入原料や他県産のブドウを一切使用することなく、すべて自社農園と神戸市北区・西区の契約農家で収穫されたブドウを原料としています。初めて神戸の土地にワイン用ブドウが植栽されてから30年を超え、ブドウのうまみは年々凝縮^{まじりゆく}され香りも増してきています。製造においては、仕込みから発酵、熟成、瓶詰まで、ほぼすべての工程をワイナリー施設内で行います。低温管理を徹底するなかで二つの工程にじっくり時間をかけ、生きたワインをお届けしたいと日々努力しています。

**安心と美味にこだわる
「神戸ワイン」ができるまで**

① ブドウの栽培

ワインづくりの工程はブドウの育成から始まります。当園ではワインづくりの原点であるブドウ栽培にこだわり、ブドウはすべて垣根仕立てで栽培しています。垣根仕立ては一本あたりの面積を広くとる必要がありますが、日光が樹木の隅々に行き渡り、房数が少量である分ブドウひと粒に果実のうまみと香りが凝縮されます（写真A）。

② 仕込み

契約農家で収穫した大量のブドウが工場に運び込まれると、自社農園のブドウと合わせて仕込み

〈A〉ブドウ畑



〈D〉オーク樽



〈B〉搬入



〈C〉発酵タンク



〈E〉最終検査

を開始します（写真B）。収穫されたブドウの粒を選び、茎や葉などの混入物を取り除いたあと、苦味を含むブドウの軸を取り除き、ブドウ粒を潰します。白ワインはそのまま搾汁機で絞り、果汁と果皮・種を分けますが、赤ワインは1週間以上発酵させてから搾汁機で絞ります。

③ 醸造

絞った果汁はステンレスの発酵タンクに移し、発酵させます（写真C）。発酵反応による温度上昇を防ぐため、タンクの周りには常に冷水を流して15℃以下の低温を維持しています。ワインは発酵を途中で止めると糖分を残した甘口になり、発酵を完了すると辛口になります。

④ 熟成

仕込み・発酵を経たワインは、香りや味わいを深め、変化に富んだワインにするため、ろ過後にタンクやオーク樽に移しかえ、熟成させます（写真D）。半年〜1年間の熟成を終えたワインは低温で瓶詰めされ、地下貯蔵庫で瓶熟成しながら出荷を待ちます（写真E）。

⑤ 完成

ワインはブドウを収穫した年の気候や降水量、酵素に触れる時間、熟成させる容器の違いなど、さまざまな要素によって味わいが大きく異なります。当社ではワイン醸造資格であるエノログを取得した醸造士がテイステイングし、味や風味を判断しています。

量から質へ方針を転換 手間隙かけたワインを家庭に

当社では数年前から「量から質へ」の転換をはかり、収穫量を制限してブドウの凝縮感を増す努力をしてきました。年間の出荷本数をおよそ半分の約30万本に絞ることににより、手間隙をかけたワインづくりを行っています。また、ブドウの色や糖度、酸味などで畑をランク分けし、畑ごとに最適なワインをつくる仕組みも導入。さらに果汁から不純物を取り除く際に遠心分離機の使用を取りやめ、自然沈澱に任せることで芳醇で深みのあるワインを実現しました。これらの努力が実を結び、神戸ワインは複数のワインコンクールで受賞しています。また、地元神戸のお客さまからも「味がよくなった」という声が届き、ワインづくりの喜びを以前にもまして感じています。

ラベルデザインにもこだわり 国内外で数々の賞を受賞

ワインの品質はもちろんですが、近年は「神戸ブランド」を高めるべくボトルやラベルのデザインにもこだわっています。

①その代表ボトルが「華結(Hanayui)リースリング白」です。世界各国の選りすぐりのワインのなかで「Best Label Design-best 10(買いたくなる

受賞歴を持つこだわりのワインたち

Hanayui RIESLING

～白(甘口)～
収穫したなかでも高品質のリースリング(白ブドウ)のみを使用した甘口の白ワイン。ジャスミンやライラックのような上品な香り、爽やかな果実味とデリケートな酸味が特徴です。アジア最大のワイン審査会のひとつ「JapanWineChallenge2012」で銀賞を受賞しました。

EXTRA シリーズ

～赤、ロゼ、白(辛口・甘口)～
最高のブドウのみを厳選し、優雅に調和した味わいに仕上げています。ラベルには神戸港開港時の浮世絵をあしらひ、舶来物であるワインとはいかなるまちなち神戸を結びつけたデザインとなっています。お土産にも最適な定番商品です。

Bénédiction シリーズ

～白(ブラン)、赤(ルーージュ)～
神戸ワインが自信をもっておすすめする、少量生産の特別醸造ワインです。収穫年で最もレベルの高い畑のブドウを使用し、できるだけストレスを与えない方法で醸造を行っています。ひとくち口に含めば、深い味わいと果実味が口いっぱいに広がります。

ラベルデザインベスト10」に選ばれました。
②神戸らしさにこだわったラベルなら「エクストラ(EXTRA)」シリーズ。工業デザイナー・喜多俊之氏により神戸港開港時の浮世絵をあしらったデザインとなっています。
③ラベルも華やかな神戸ワインの最高級品「ベネディクション(Bénédiction)」シリーズは最も丁寧につくられた本数限定ワインです。収穫から仕込みまですべて手作業で行い、ほとんどの工程に昔ながらの製法を用いています。ブドウをゆつくりと手で絞り、足で踏むと余分な雑味が出てくく、また空気に触れる時間が長くなるためまろやかなワインに仕上がります。発酵工程では自然酵母を用い、ステンレスではなく木の樽で発酵・熟成させています。味わいに複雑性とふくらみを、香りに豊かさをプラスした「ベネディクション」シリーズは高い評価を受け、数々のワインコンクールで賞をいただいています。

環境にやさしいワインづくりを

環境に配慮した取り組みとして、当園では使用済みのトンネルを貯蔵庫として有効利用しています。トンネル内部は気温や湿度などが一定で、ワインにとっては最高の環境です。電気を使わない天然の冷蔵庫には長熟タイプの8万本が貯蔵されています。さらに神戸ワインの製造過程で出る搾りかすなどの副産物を飼料として育てた「神戸ワインビーフ」も循環型農業の試みです。これは廃棄物を減らすだけでなく、神戸が誇る地元ワインと国産黒毛和牛のコラボレーションであり、新たなブランドとして認知されつつあります。

地元企業とコラボレーションし

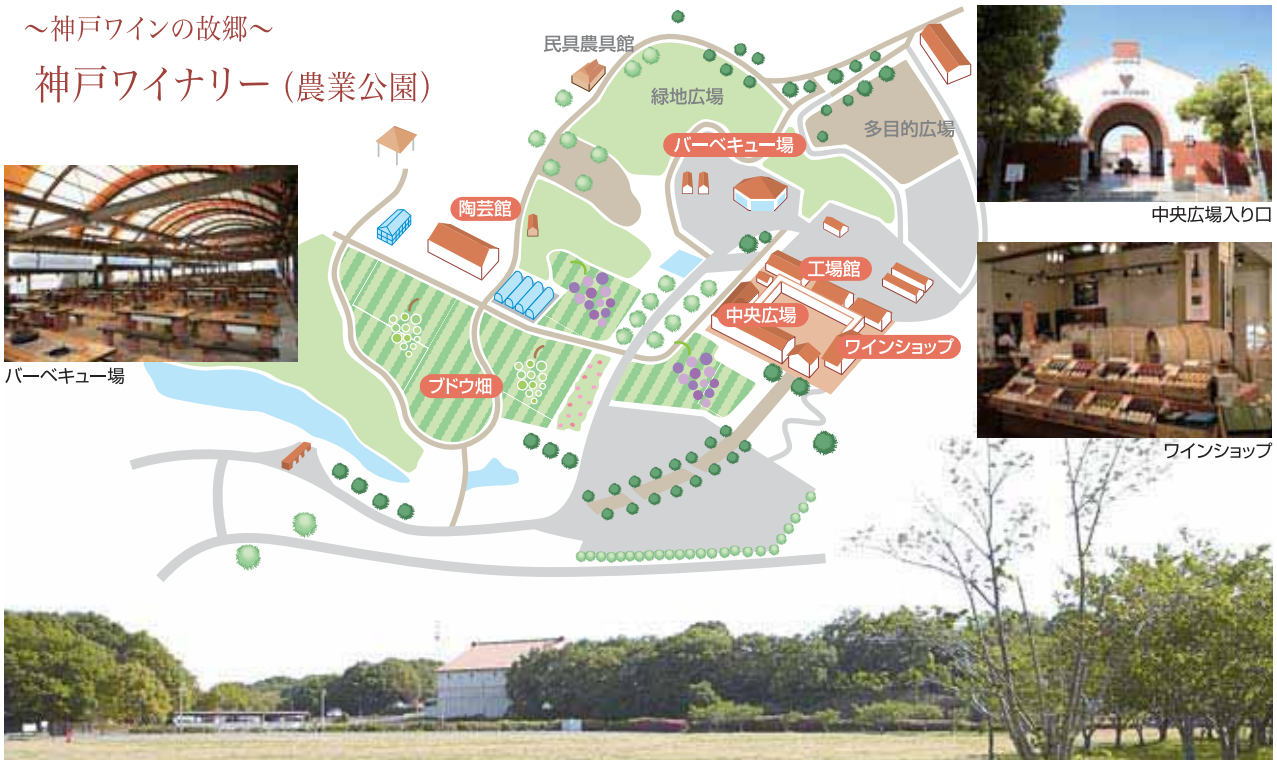
「神戸ブランド」の底上げに貢献

「神戸ワイン」は地元の企業との結びつきを重視し、神戸フエリーや市内の飲食店などのオリジナルラベルを冠したワインも生産しています。さらに神戸を本社とする株式会社フジシモと手を結んで全国への販売も行っています。特別ラベルにはブドウが育った農園の番地がデザインされており、その出所の確かさを証明しています。

神戸ワイナリーはその味だけでなく、安全性と信頼性により国内有数の銘醸地となりました。毎年条件の異なるブドウのポテンシャルを最大限に生かすことがワインづくりの醍醐味であり、われわれの責任です。今後も「神戸ブランド」を押し上げる高品質なワインづくりをめざしたいと思います。

～神戸ワインの故郷～

神戸ワイナリー（農業公園）



神戸ワイナリー
（農業公園） さま

関西電気保安協会

神戸ワインは低温での発酵、熟成、瓶詰めを徹底していますので、電気系統のトラブルは大敵です。電気トラブルを事前に察知し、回避できる保守点検は非常に役立っています。また、2014年4月から導入したデマンド監視システムにより、社員の節電意識も高まりつつあります。ワインづくりに関する施設やお客さまの利用される館内の電力が抑えられない分、事務所では貼り紙等でこまめなスイッチオフを呼びかけています。今年度のデータをもとに、今後は計画的に節電への取り組みを強化していきたいと考えています。



デマンド監視システム



貼り紙で節電意識の向上を呼びかけ

（ワイン事業部ワイナリー課 管理主任 中崎 欣孝さん）

豊かな自然に恵まれた食と歴史のまち

福井県 小浜市



人魚に出会える場所

福井県の南西部に位置する小浜は、古代、朝廷に若狭の山海の幸を献上する御食国みけつくにの中心地でした。御食国とは、朝廷に御贄みえ（天皇の御食料を指す）を納めた国のことです。その後も、京の都に魚介類を運ぶ鯖街道の出発点として栄え、今も美しい自然が育む豊富な海の幸、山の幸に恵まれたまちです。

まちの中心地であるJR小浜駅から西へ10分ほど歩くと海を一望できる海岸通りに出ます。空と海、見渡す限り青の世界に心地よい風が頬をかすめていきます。地元の人々の散歩コースにもなっているようで、犬を連れた人やジョギングをする人の姿も見えます。

この通りのほぼ中央にあるのがマーメイドテラス。人魚の肉を食べ、いつまでも若く美しいまま800年を生きたという八百比丘尼はっぴやくにの伝説にちなみ、長寿を願う人魚の像が建つテラスで、ここから見える海に沈む夕日は絶景です。また、このあたり一帯は市街地から歩いて行ける海水浴場「人魚の浜」として人気があり、夏場は海水浴客で賑わいます。



マーメイドテラス ■福井県小浜市小浜日吉



三丁町

■福井県小浜市小浜香取



いづみ町

■福井県小浜市広峰



ユーモアたっぷり！
12代目店主の
益田さんとの会話も
楽しい！！

元祖 朽木屋商店

■福井県小浜市小浜広峰39
■Tel.0770-52-0187 ■年中無休(臨時休業あり)

地元でも有名な焼き鯖・へしこの専門店。浜焼き鯖は一匹1,000円から。素焼きの鯖はそのまま食べるもよし！醤油をつけるもよし！残ったら煮付けにといるんな食べ方を楽しめます。



そのまま
食べても
美味しい！

京文化が香る三丁町と鯖街道

さんちようまち

海岸沿いの遊歩道をぶらぶら歩いていると、三丁町と書かれた看板を発見。行ってみると、神社や寺、格子戸の家々が軒を連ねた風情あるまち並みが広がり、まるで祇園界隈を歩いているかのような気分になります。鯖街道を通じて昔から京都と深いつながりを有してきた小浜には、今も京文化が根つき、旅人を惹き込む魅力があります。

鯖街道とは若狭と京を結ぶ街道の総称です。近年運ばれた物資の中で「鯖」が特に有名になったこと、朝獲れた鯖を一塩して一昼夜かけて京都に運ぶと丁度いい味わいになったということから、複数の道を総称して鯖街道と呼ぶようになったそうです。そんな鯖街道の起点にあたるのがいづみ町で、魚の小売り店が並びます。朝に水揚げされた活きのいい魚や浜焼き鯖、一夜干しの縄のれんなど、威勢のよい声に思わず吸い寄せられます。

たむらちよう 田村長

■福井県小浜市小浜広峰14
■Tel.0770-52-0310
■9:00~18:00
■日曜・祝日休、水曜不定休、年末年始・盆休



小浜であかった新鮮魚や加工品を取り扱う老舗。缶詰の種類も豊富で、4種類の味が楽しめる鯖缶詰はお土産にもオススメです。<写真右から時計回りに>小鯛ささ漬半樽1,296円、さすの昆布メ半樽1,944円、鯖缶詰昆布入りしょうゆ味・とうからし味・しょうが味各540円。

鯖街道資料館

■福井県小浜市小浜広峰14
■入場無料

看板が目印です。いづみ町のほぼ中央に位置し、さまざまな物品と写真、パネルが往時の活気を感じさせます。



8割のシェアを誇る若狭塗箸

小浜のお土産にぜひ選びたいのが若狭塗箸。全国の8割の生産量を誇る主力産業のひとつです。「箸のふるさと館WAKASA」には、約3,000種類ものお箸が展示即売されていて、美しい紋様の高級品から普段つかいのカジュアルなものまで、つかう人のライフスタ



イルにあわせて選べます。最近は食器洗浄機で洗えるもの、ラメや箔の**はく**入ったものが人気だそうで、館内では若狭塗箸の研ぎ出し体験コーナーもあります。

ギネス認定!
世界最大のお箸

子供に人気の色鉛筆型のお箸

お箸置きもいろいろ

いろんなお箸に出会えるよ!

長さ840cm、重さは1t。2009年に世界一長い箸としてギネスの認定を受けました。

早速やってみました!

完成!

若狭塗箸は幾重にも塗り重ねられた色とりどりの漆と、そのなかに塗り込められた貝や卵の殻によって作られています。それらを丹念に研ぎ出すことで現れる層の重なりは、ひとつとして同じものはない手作りならではの美しさです。

世界でひとつのお箸をつくろう!

箸研ぎ体験



①好きな色、好きな長さの箸を選びます。②やすりのローラーをつかって慎重に丁寧に研いでいきます。③削りすぎると下地の木が出てしまうので、力加減には細心の注意が必要です。

箸のふるさと館WAKASA

■福井県小浜市福谷8-1-3 ■Tel.0770-52-1733 ■9:00~17:00(平日) / 9:00~16:00(日曜・祝日)
■年末年始休 ■入場無料 ■箸研ぎ体験:20分一膳324円(大人~中学生)

緑に囲まれ過ぎず時間

もうひとつ。小浜に
来たらぜひ立ち寄り
たいのが、約1年半前



にオープンしたばかりのグリーンカフェです。
築150年以上の古民家を改装し、植物と
暮らす生活(ボタニカルライフ)を提案して
いきたいというオーナーの思いが詰まった空間
は、その名のとおり、緑と採光にあふれてとても
開放的。一杯ずつ丁寧にドリップされたコーヒー
を味わいながら、旅のプランを練ったり、読書
をしたり、思い思いの時間をのんびりと過ご
せます。店内に無造作に置かれた観葉植物
はよく見るとどれも個性的で、気に入った
ものがあれば販売も可。デザイン性、機能性
に優れた箸やエコバッグなど、オーナーがセレ
クトしたセンスの良い小物たちも並びます。
さまざま歴史と文化に彩られた御食国・
小浜は、今なお、訪れる人々を魅了し続け
るまちです。



アプリコットジャムがのった「熊川くすの杏仁プリン」(430円)。濃厚でまるやかな口当たりなのに後味はすっきり。暑い夏にもぴったりです。



green cafe

■福井県小浜市小浜酒井95-2
■090-8323-4345 ■10:00~18:00 ■火曜休

~小浜市MAP~



■小浜市への交通(ご参考)
【車の場合】大阪から舞鶴若狭自動車道(小浜ICまで)
→27号線を経て小浜へ(約2時間半)
【電車の場合】大阪駅から特急サンダーバードにて敦賀駅へ。
JR小浜線に乗り換え、小浜駅下車(約2時間半)



「電気使用安全月間」にあたって



平素は、経済産業省の産業保安行政、とりわけ電気の保安に関し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年4月末より、前沖嵐支部長の後任を引き継がせていただくことになりました五十嵐と申します。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

ご承知のとおり、今夏の電力需給の見通しは、原子力発電所の停止が続く中、特に西日本では、東日本からの電力融通を見込まないと電力の安定供給に必要な予備率3%を確保できないなど、厳しい需給状況となる見通しが示されています。こうした中、大規模電源の脱落があれば電力需給の逼迫など、昨年夏以上に厳しい状況になることが想定され、発電設備の保守・保安の一層の強化、需要家の節電の取り組みなどが強く求められています。

皆様方におかれましては、引き続き、節電への取り組みにご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

さて、近畿管内における昨年の電気事故の状況を振り返りますと、風力発電所の風車落下事故をはじめとする主要電気工作物の破損・波及事故、近年増加傾向にある感電死傷事故など、種々の事故が発生しています。

中でも、昨年2件発生した感電死亡事故においては、施工不良、絶縁・接地不良などの不適切な設備管理が原因となっており、保安規程に基づく、確実な点検、測定の実施が望まれるところです。

また、事業用電気工作物、特に自家用電気工作物においては、設備の高経年化、老朽化などにより、信頼性の低下が懸念される所であり、予防保全の観点から保全計画、設備更新など、事故・災害の未然防止が重要と考えられるところです。

このような中、経済産業省では感電死傷事故の発生の危険性が高い8月を「電気使用安全月間」と定め、電気使用の安全に関する知識と理解を深めていただくことを目的として、関係団体と共に安全運動を集中的かつ統一的に展開し、電気事故の防止に取り組んでいるところです。

皆様方におかれましても、「電気使用安全月間」を迎えるにあたり、これを契機に今一度、それぞれの事業所における保安体制の確認、適正な保守管理の実施により、電気事故の未然防止にご尽力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成26年7月

中部近畿産業保安監督部近畿支部長 五十嵐 誠

平成25年度 近畿管内における電気事故について【概要】

○近年事故の発生件数は横ばい傾向で推移しているが、感電事故等の人身事故は、昨年と同じ14件発生しており、過去10年の中では、平成21年度の次に多い発生件数となっている(図1)。

○平成25年度の近畿管内の電気事故は72件発生している(対前年比△12件)。(表1)。

△：マイナス

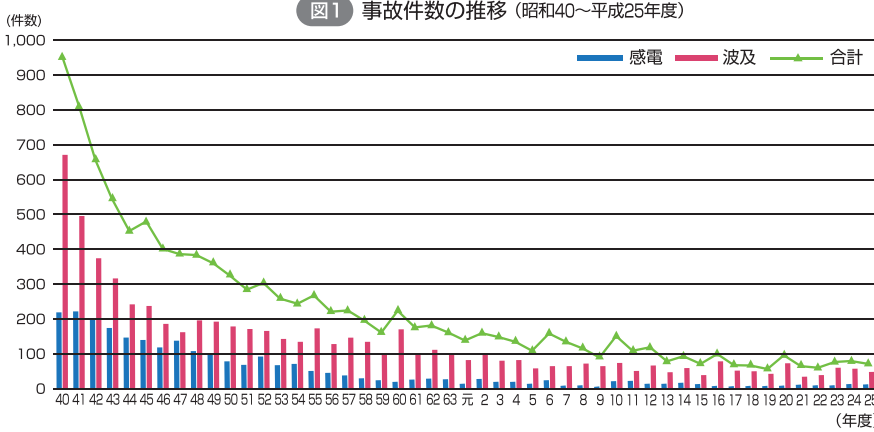


図1 事故件数の推移 (昭和40～平成25年度)

表1 種類別事故発生件数 (平成16～25年度)

	感電	感電外	火災	社会的影響	破損	供給支障	他社波及	波及	累計	発生件数
16年度	13	6		2	4	1		84	110	108
17年度	11	3			2	1	1	56	74	72
18年度	7	6		1	2			55	71	70
19年度	7	8			1	2		44	62	61
20年度	10	3		1	3	1		76	94	93
21年度	15			1	1	1		45	63	63
22年度	13	1			1	1		47	63	63
23年度	9	1	3		1	1		67	82	82
24年度	14	4	1		1	1		63	84	84
25年度	14	2			1	1		54	72	72

注：平成16年4月1日報告規則改正に伴い、「損壊事故」は「破損事故」に名称変更、「指定事故」は廃止、「社会的に影響を及ぼした事故」が追加されています。

【1】感電死傷事故

○感電死傷者数は14人となっている(表2)。

○感電死亡事故は2件(公衆)とも8月に発生している(原因：施工不良、絶縁接地不良)。

【2】感電外死傷事故

○感電外死傷事故(アークによる火傷)は2件発生している(対前年比△2件)。

【3】電気火災事故

○該当事故はなし。

【4】主要電気工作物破損事故

○主要電気工作物破損事故は1件発生している。

【5】供給支障事故

○供給支障事故は1件発生している。

【6】自家用電気工作物からの波及事故

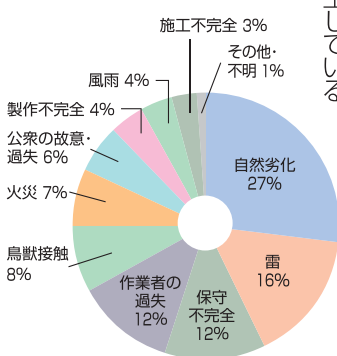
○波及事故は54件発生している(当支部に報告のあった波及事故は40件(表3)、14件が報告漏れ)。*事故発生電気工作物

表2 感電死傷事故の死傷者数 (平成16～25年度)

用途		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	計
電気事業用	作業者	死亡				1						1
	負傷	1	1		1						1	4
公衆	死亡				1					2		3
	負傷	4	1	1		1	2	2	3	4	2	20
自家用	作業者	死亡	1	2	1		3	2				9
	負傷	5	2	5	3	1	8	11	6	3	4	48
公衆	死亡		2		1	1	3	1		3	2	13
	負傷	3	3		1	3		0	1	2	5	18
計	作業者	死亡	1	2	1		4	2				10
	負傷	6	3	5	4	1	8	11	6	3	5	52
公衆	死亡		2		2	1	3	1		5	2	16
	負傷	7	4	1	1	4	2	2	4	6	7	38
合計		14	11	7	7	10	15	14	10	14	14	116
発生件数(件)		13	11	7	7	10	15	13	9	14	14	113

(単位：人)

図2 波及事故の原因 (平成21～25年度)



○平成25年度は台風の影響などにより、「風雨」による事故が例年に比べ、多く発生している。

○過去5年の原因別発生件数では、「自然劣化」が、全体の4分の1を占めている(図2)。

○平成25年度は台風の影響などにより、全体の4分の3を占めている。

は、「ケーブル類」、「PAS」、「VCB」で、

PAS：柱上高圧気中開閉器 VCB：高圧真空遮断器

表3 波及事故の原因別発生件数 (平成21～25年度)

原因	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	計	比率(%)	
設備不備	製作不完全	1	2	2	2	1	8	4.3
	施工不完全		1	1	2	1	5	2.7
保守不備	保守不完全	5	4	3	8	3	23	12.4
	自然劣化	10	11	12	8	9	50	26.9
自然現象	過負荷				1	7	8	4.3
	風雨							
故意過失	氷雪							
	雷	3	1	3	14	9	30	16.1
他物接触	地震							
	嵐・ちり							
他物接触	作業者の過失	2	5	9	4	2	22	11.8
	公衆の故意・過失	1	1	4	4	1	11	5.9
他物接触	火災		4	4	1	4	13	7.0
	鳥獣接触	4	2	5	1	2	14	7.5
その他・不明	その他の他物接触							
	その他・不明		1				1	1.1
計	26	32	43	45	40	186	100.0	

(単位：件)

平成26年度 経済産業省主唱

8月は「電気使用安全月間」です

重点活動テーマ

- 電気はムダなく安全に使いましょう
- 自家用設備の電気事故は、適切な保守点検と計画的な更新で防ぎましょう
- 地震、雷、風水害などの自然災害にそなえ、電気の安全に努めましょう

日常生活に不可欠な「電気」。大切なエネルギーですが、その使用方法を誤ると大変な事故につながります。8月は高温多湿による発汗のため感電しやすく、暑さによる疲労により電気事故が発生しやすくなります。「電気使用安全月間」では、毎年8月に経済産業省の主唱のもと、電気関係団体がさまざまな電気の安全運動を展開して電気事故防止を呼びかけており、今年で34回目を迎えます。当協会ではこの月間中、近畿各地で一斉の街頭キャンペーンなどの電気安全のPR活動を実施します。当協会ホームページには「電気の情報」を掲載しておりますので、電気の安全知識としてご活用ください。



全国電気保安協会 統一ポスター

全国電気保安協会 統一ポスター(関西版)を無料で送付いたします! 申し込みは当協会ホームページの「お問い合わせ」(その他)から、ポスター希望の旨と必要枚数を明記してご登録ください。お客さまの職場等に掲示して、社員の方々への電気安全アピールをお願いいたします。

当協会の主な活動

- テレビ、ラジオ、新聞、自治体広報誌、ポスターによる電気使用安全の呼びかけ
- 街頭キャンペーンによるうちわ配布やイベントでのPR
- 受講者の方々に合わせた電気講習会の実施(申し込みは協会HPをご参照ください)
- 一般ご家庭などの点検調査における不良設備の改修促進
- 高圧受電のお客さまへの電気事故防止の呼びかけ 等



街頭キャンペーン風景(昨年度)



配布うちわ

関西電力からの節電のお願い

平素は弊社事業に対し格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。また、日頃より節電・省エネにご協力いただき、誠にありがとうございます。

この夏の需給見通しにつきましては、平成25年度並みの猛暑を想定した場合でも、引き続き、無理なく継続してご協力を賜ることが期待できる節電(定着した節電)を織り込むことや、中西日本に加えて東日本の電力会社からの応援融通等により、予備率は、電力の供給に最低限必要とされている3%を辛うじて確保できる見通しです。

しかしながら、この夏も、発電所のトラブルなど、不測の事態により、電力需給が逼迫することも考えられます。

電力需要の想定におきましては、定着した節電として263万kW(平成22年度の夏季最大電力の8.5%)を織り込んでいることから、お客さまにおかれましては、着実な節電・省エネにご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

さらに、電力需給の逼迫が予想される場合には、お客さまの健康に影響を与えない範囲、ライフライン機能等の維持や生産活動に支障のない範囲で、可能な限りの節電にご協力いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

弊社といたしましては、引き続き、火力・水力などの供給設備を可能な限り活用しながら、安全・安定運転に万全を期すとともに、原子力プラントの再稼働に全力で取り組み、お客さまに電気を安全かつ安定的にお届けするという使命をしっかりと果たしてまいります。

関西電力株式会社

【参考】政府の節電要請内容および期間・時間

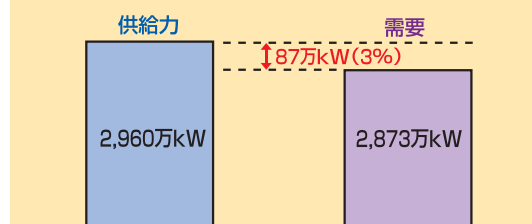
■節電にご協力いただきたい期間

平成26年7月1日(火)～平成26年9月30日(火)まで
(ただし8月13日(水)～8月15日(金)までを除く)

■節電にご協力いただきたい曜日・時間帯

平日の9時～20時

今夏の関西電力管内の電気の供給力と需要のバランス



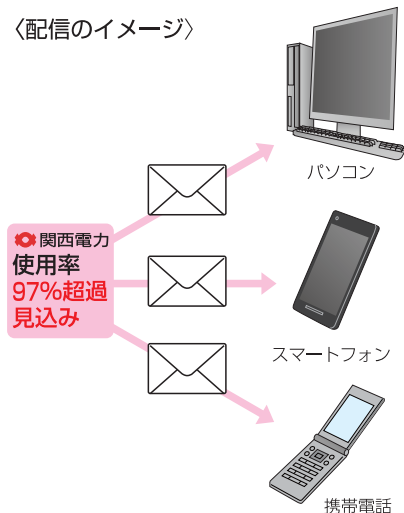
「需給逼迫のお知らせメール」にご登録をお願いします

「需給逼迫お知らせメール」とは、電気の使用率が97%を超過する需給状況が非常に厳しい見込みとなった際、予めご登録いただいたお客さまに電子メールにてその時間帯をお知らせいたします。万が一の備えとしてご登録いただけますよう、よろしくお願いいたします。

お知らせする内容	お知らせするタイミング
<ul style="list-style-type: none"> 電気の使用率が97%を超過すると見込まれる時間帯 	<ul style="list-style-type: none"> 前日18時頃に、翌日の電気の使用率が97%を超過すると見込まれる場合 当日8時頃に、当日の電気の使用率が97%を超過すると見込まれる場合 当日8時以降に電気の使用率が97%を超過する見込みが変更となった場合

※上記以外においても、需給状況に関するお知らせをお送りすることがあります。

〈配信のイメージ〉



【パソコン・スマートフォン】

逼迫メール

検索

<http://kanden.jp/s-onegai/>

ご登録はこちら

スマートフォンは、右のコードからもアクセスできます。



右のコードからもアクセスできます。



節電に関するお問い合わせにつきましては、関西電力ホームページをご覧ください。下記の電話番号までお問い合わせください。

関西電力ホームページ <http://www.kepco.co.jp/>

節電お問い合わせ専用ダイヤル(通話料無料) **0800-123-0171**

【受付時間】平日(月～金)9:00～17:00(7月1日より開設)

※お電話がつながりにくい場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※一部のIP電話からは、ご利用いただけません。

※お問い合わせの際には、番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようお願いいたします。

※耳やことばがご不自由なお客さまにつきましてはFAXによるお問い合わせも承っております。

FAX0800-123-0400 (受付時間は、左記の専用ダイヤルと同様です。)

※土日祝および8月13日(水)～8月15日(金)は、電話・FAXの受付を行っておりませんので、ご注意ください。

関西電力からの節電のお願い

①空調における節電

●空調機に「よしず」を設置

外気温度が上がれば室外機の放熱効果が低下するため、室外機の消費電力は増加します。屋外に設置されている室外機は、直射日光により太陽熱を吸収して運転に負担がかかります。そのため、室外機に「よしず」等を設置し、直射日光を避けて放熱効果を高めます。



空調機に「よしず」設置例

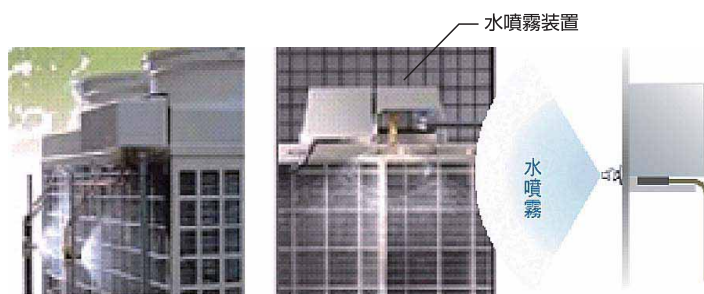
〈節電効果目安: 10%〉

(注) 数値は節電効果を示す目安であり、「夏季の節電メニュー(事業者の皆様)」(平成26年5月経済産業省)に示されている値です。

●空調機に「水噴霧」

室外機に水噴霧装置を取り付け、夏季冷房時に水噴霧することにより、放熱効果が向上し、消費電力が削減されます。

空調室外機散水(例)



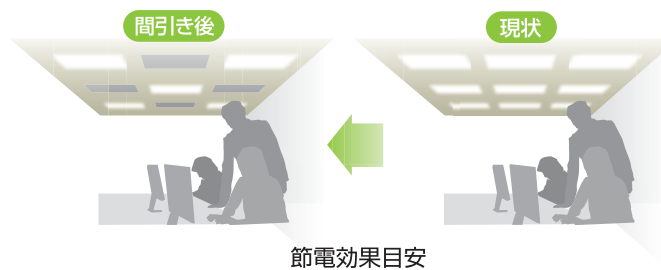
(注) 水噴霧に対応していない機器もあるため、事前にメーカーにご相談ください。

②照明における節電

●執務室エリア等の照明の間引き

照明を可能な範囲で間引きしていただくことで、節電・省エネになります。労働安全衛生法上の照度基準(300ルクス)を基本に可能な範囲で間引きをお願いします。

なお、蛍光灯照明器具などで、ランプを外して間引き点灯する場合、使用している安定器の種類によっては、消費電力がゼロにならないもの、安定器が過熱するもの、2灯用の1本だけ外すとランプ寿命が短くなるものがありますので、ご注意ください。



節電効果目安

オフィスビル	卸・小売店	食品スーパー	医療機関	ホテル・旅館	飲食店	学校
13%	13%	11%	4%	13%	40%	16%

(注) %は、節電効果を示す目安であり、「夏季の節電メニュー(事業者の皆様)」(平成26年5月経済産業省)に示されている値で、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合を示します。

その他にも…
〈電気ご使用量お知らせサービス〉
省エネに役立つさまざまな情報が掲載されています。ぜひ、この機会にご登録・ご活用ください。(登録費・年会費無料)

～安定供給に向けた関西電力の取り組み～

〈概要〉 汽力発電方式の発電設備を、1,600℃級ガスタービンを用いた高効率のコンバインドサイクル発電方式へ更新

	既設設備	更新後設備
所在地	兵庫県姫路市飾磨区妻鹿常磐町	
敷地面積	約86万m ²	
発電方式	汽力発電	コンバインドサイクル発電
発電所出力	225万kW	291.9万kW
使用燃料	LNG	LNG
熱効率(LHV基準)	約42%	約60%
CO ₂ 排出原単位	0.47kg-CO ₂ /kWh	0.33kg-CO ₂ /kWh
運転開始	1号機:S38年10月 6号機:S48年11月	1号機:H25年8月 6号機:H27年3月



姫路第二発電所設備更新工事の前倒し
姫路第二発電所4.5号機は平成26年夏の供給力となるように、営業運転開始時期を前倒しするとともに、試運転の前倒しを計画いたしました。また、試運転期間についても運転開始した先行機の知見を活かすことで、試運転に伴うトラブルの見込みが低いことから、今夏の供給力として見込んでいきます。

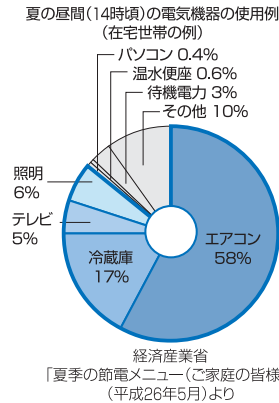
節電ポイント

ご家庭の皆様

関西電力からの節電のお願い

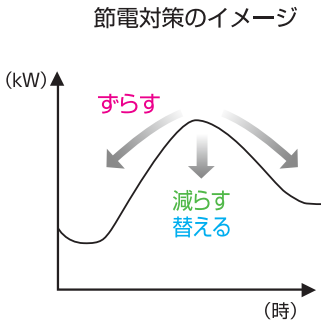
①消費電力の割合が高い 電化製品の節電を

夏の昼間のご家庭における消費電力のうち、エアコン、冷蔵庫、テレビ、照明が8割程度を占めています。これらを中心に節電に取り組んでいただく効果的です。

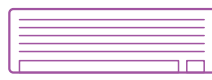


②「減らす」「替える」「替える」

節電のポイントとしては、
・電化製品の設定変更などで使用量を減らす
・電化製品のご使用時間帯をずらす
・省エネ性・節電効果の高い機器に替える
ことが節電につながります。



エアコン



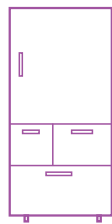
10%削減

室温28℃を目安に設定してください。(設定温度を2℃上げた場合)

※すだれ、やぶよし、などで日差しを和らげてください。

10%削減

*節電効果の記載値は、在宅家庭の日中の最大使用時(約1,200W)に対する削減率の目安です(資源エネルギー庁推計)。(参考)経済産業省「夏季の節電メニュー(ご家庭の皆様)」(平成26年5月)



冷蔵庫

冷蔵庫の設定を「強」から「中」にし、開閉は少なかつめこまないでください。

2%削減



照明

不要な照明を消してください。

5%削減



テレビ

画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消してください。(標準→省エネモードに設定し使用時間を2/3に減らした場合)

2%削減

待機電力



主電源を切り、使わない機器はコンセントからプラグを抜いてください。

2%削減

屋内でも熱中症にかかる場合があります。適切な室温管理や水分補給に留意いただく等、十分にご注意ください。特に、ご高齢の方や体調に不安のある方はお気をつけください。

「はぴeみる電」に登録いただくと…

- ①PC・スマホ・携帯電話でいつでもどこでも電気代をチェックできます。
- ②過去24ヵ月分の電気代や使用量をグラフでチェックできます。
- ③ランキング形式で他のご家庭の光熱費と比較できます。

お客さまからのお声(一部抜粋)

- 前年との増減がわかり、前年より省エネを頑張ろうと意識が高まる。
- 節電・節約ポイントが明確になり、無理をせず省エネに取り組める。

ご登録はコチラから! ~すぐにご利用いただけます~



パソコン・スマートフォンからは…

「はぴeみる電」検索



携帯電話からは…
<http://kanden.jp>
または右のコードからアクセス



※ご登録完了後は、紙による検針票などはお届けませんが、パソコンでの印刷・ダウンロードは可能です。



その他にも…
「はぴeみる電」は、電気料金や省エネ管理や、省エネルギーに向けた取り組みを支援する「はぴeみる電」。
ご家庭のエネルギー管理や、省エネルギーに向けた取り組みを支援する「はぴeみる電」。
「はぴeみる電」は、電気料金をWEBでチェックできて省エネ節約に役立つ情報も掲載されています。この夏、節電の「助」として、ぜひ、ご利用ください(登録費・年会費無料)。

~安定供給に向けた関西電力の取組み~

休日・夜間にメンテナンス

安全・安定供給の実現のため、異常兆候の早期発見や早期復旧に向けた取組みを実施しています。機器の異常が見つかったとしても、需給バランスの制約からすぐに修理できないものがあり、需要が低下する夜間・休日に集中してメンテナンスを実施しています。また、時間の制約上、十分な修理ができない場合は、応急復旧を行い、恒久的な修理は繰り延べしているケースもあります。



海南発電所2号機 蒸気タービンロータ

海南発電所2号機の再稼働
長期計画停止中の海南発電所2号機を再稼働しました。10年あまり停止していたため、広範囲におよぶ設備の点検・改修取替えを実施しました。

保安レポ

小動物接触による 停電事故の対策

当協会が受託しているお客さまで、高圧停電における電気設備への小動物接触による事故は多く発生しています。突発的な停電による影響や近隣への停電(波及事故)を防ぐためにも、事故原因の傾向とその対策について紹介いたします。また、改修等にもご理解とご協力をいただくようお願い申し上げます。

営業本部 技術部

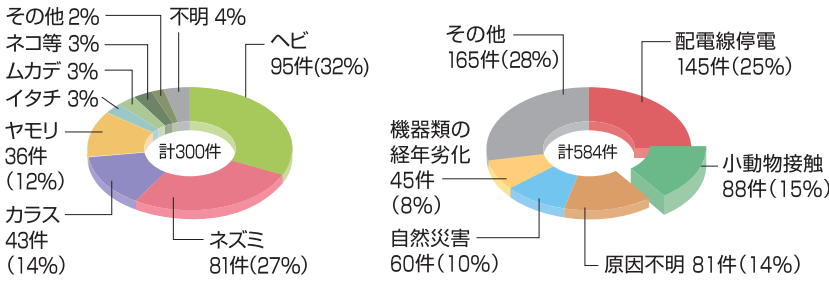


図2 過去5年間の小動物による高圧停電事故の原因内訳 (平成21~25年度)

図1 平成25年度の高圧停電事故対応件数

平成25年度において当協会が受託しているお客さま約4万7千軒の自家用電気設備での高圧停電(以下、高圧停電事故)による出動件数は584件あり、そのうちの88件がヘビ等の小動物が高圧の電気に接触することによるものでした(写真1)。



写真1 高圧負荷開閉器に接触し高圧停電事故原因になったヘビ

これは高圧停電事故対応の15%に相当し、電力会社の配電線停電に次いで多い原因となっています(図2)。

また、過去5年間に発生した小動物が高圧の電気に接触した(以下、小動物による)ものが95件(32%)で最も多く、続いて

平成25年度において当協会が受託しているお客さま約4万7千軒の自家用電気設備での高圧停電(以下、高圧停電事故)による出動件数は584件あり、そのうちの88件がヘビ等の小動物が高圧の電気に接触することによるものでした(写真1)。

ネズミ、カラス、ヤモリの順番で全体の85%を占めており、この4種類について対策を講じることで大幅な高圧停電事故の減少が期待できます(図3)。

当協会では、小動物が高圧の電気に接触することによる高圧停電事故を減少させるため、停電によるリスクを記載した提案書をお客さまに提出し、お客さまにご理解いただきやすい改修提案を行うなど、高圧停電事故の未然防止に取り組んでいます。これにより、お客さま設備の改修も進んでいるのですが、平成23年度以降、ヘビ、ネズミ等の小動物による高圧停電事故は増加傾向にあります(図3)。

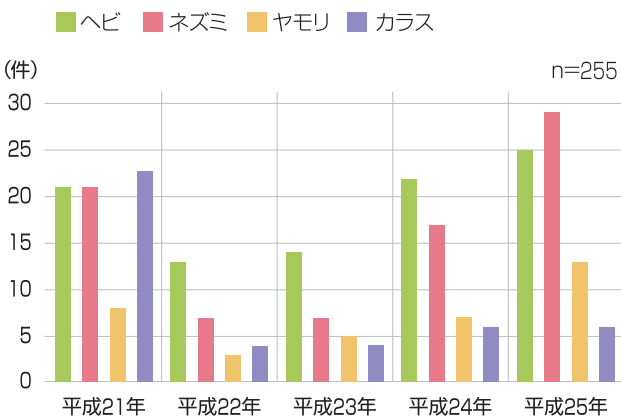


図3 主要小動物が起因となった高圧停電事故件数

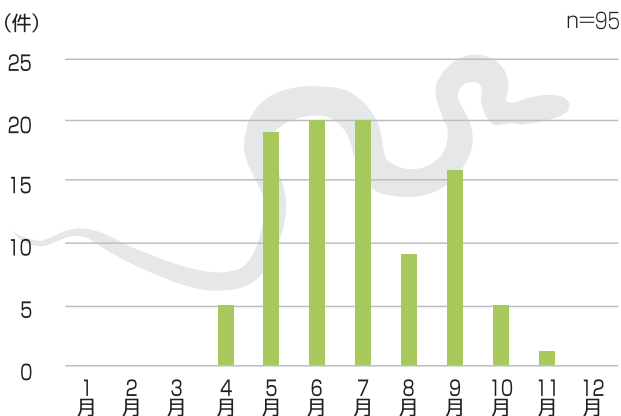


図4 月別ヘビが起因の高圧停電事故発生数 (平成21~25年度)

1. 小動物による高圧停電事故発生状況

ヘビ

ヘビは最高気温が15℃を超える日が数日続く4月中旬から活動が始まり、10月~11月頃に冬眠へと入る習性があります。ヘビが原因の高圧停電事故は活動が活発となる5月から産卵期を迎える7月に最も多い傾向にあります(図4)。キュービクル式高圧受電設備(以下、キュービクル)のJIS規格C4620(2004)には内部換気のため隙間10mm未満の下部通気孔を設けていますが、この隙間からヘビが侵入したり、扉の隙間から侵入した事例が報告されています。

経営者・電気設備管理者様

小動物接触による事故は多く発生しています。
お客さま構内での停電は大きな影響が発生します。
ぜひ対策にご協力をお願いいたします。

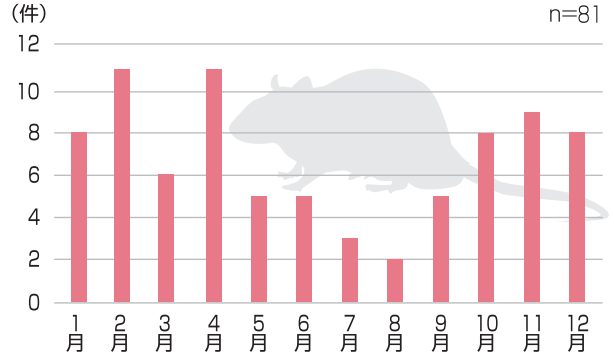


図5 月別ネズミが起因の高圧停電事故発生数 (平成21～25年度)

以前より、ヘビは電線の配管からの侵入が多くあり、配管の隙間を埋める対策を行ってききましたが、近年、通気孔や扉の隙間からの侵入事例もあり、その対策も必要となってきました。

■ネズミ

ネズミは、ネズミ算式と例えられるほど繁殖力が強く、また、年間を通して活動が活発です。特に10月から4月までの気候が寒い時期にネズミによる高圧停電事故が多く発生しています。これは高圧設備の各機器の温度が外気温より高いので、ネズミが集まってくるためと言われています(図6)。

ヤモリは、灯りに集まる虫などを狙って主に夏場に活動するため高圧停電事故も同時期に発生します(図7)。ヤモリが原因

■ヤモリ

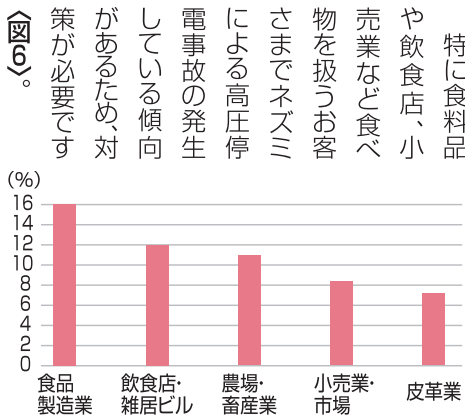


図6 ネズミが起因する高圧停電事故のあった上位5業種の発生率

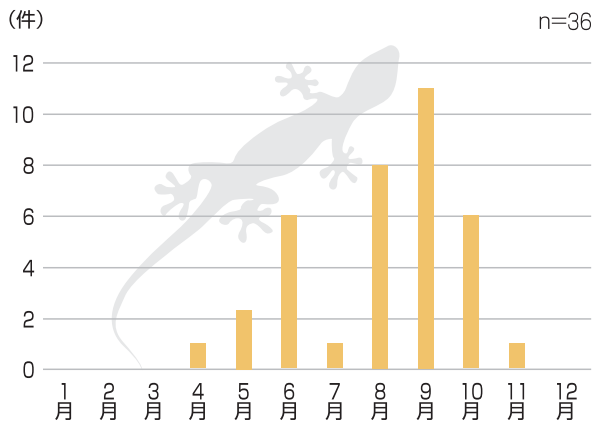


図7 月別ヤモリが起因の高圧停電事故発生数 (平成21～25年度)

による高圧停電事故の約90%が、キュービクルで発生しているため、普段からヤモリのエサとなる虫などを近づけさせないための対策が必要です(写真2)。

写真2



写真2 虫の発生要因となるキュービクル周辺の状況



写真3 高圧機器に接触したヤモリ

■カラス
カラスが原因の高圧停電事故は年間を通して発生しています(図8)。特に3月～7月の間は繁殖期で、構内柱上の営巣が原因の高圧停電事故も報告されています。カラスは衣類を干すのに使用する針金ハンガーを居宅のベランダから集めて巣を作ることがあるため、高圧停電事故に発展しやすく構内柱上の日常点検が必要です。普段から構内柱付近にカラスを見かける場合は、特に注意が必要です。

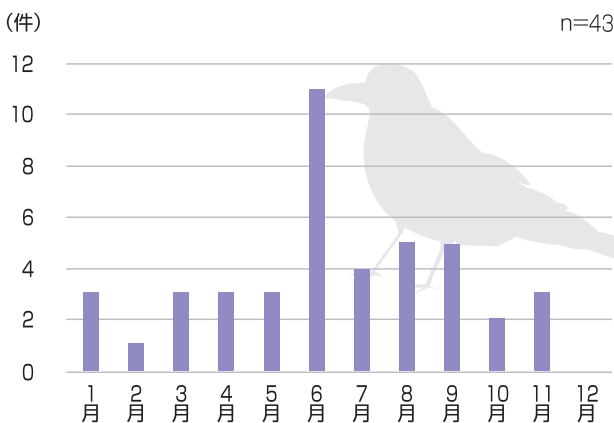


図8 月別カラスが起因の高圧停電事故発生数 (平成21～25年度)

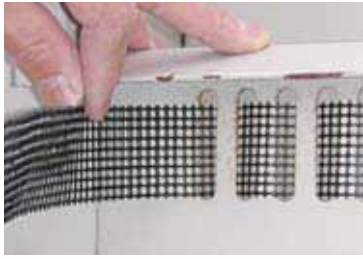


写真6 トリカルネット*を使用した侵入対策例
*トリカルネットは、プラスチック製で編んでいない一体性のある角目ネット



写真5 キュービクル下部の通気孔



写真4 キュービクル周囲の防草シートの使用例

2. 小動物による 高圧停電事故の防止対策

基本的に小動物による受電設備への侵入対策は、配管等の隙間を確実に塞ぐということに尽きます。ここでは電気設備の経年による隙間や工事後に発生する隙間などに対して一般的な対策および改修方法についてご紹介させていただきます。

(1) 受電設備の対策

- 配管等の隙間は、パテ等で確実に塞ぐ。特にネズミの侵入対策は、防鼠パテを使用する。
 - 換気扇の屋外フードに防鳥網を取り付ける。
 - キュービクル周辺の草刈り等の除草を行う、または周囲をコンクリート張り(または防草シート張り)にし、へビ等の餌となる動物類を近づけさせないようにする
- 〈写真4〉。
- へビが生息すると思われる場合は、へビの忌避剤をキュービクル周辺に散布する。
 - 通気孔にネットを貼り侵入させない。地上に設置したキュービクルの下部通気孔から侵入の恐れがあるものについては、通気孔の隙間が10mm未満であってもも侵入するので、さらに通気性のあるネットを取り付ける(写真5・6)。
 - キュービクル扉に隙間がある場合は隙間テープを貼る。



写真7 キュービクル隙間の確認方法
扉を押さえた状態から手を離し自然に開いてくる隙間を測定する

写真8 隙間テープ

- 高圧充電部を絶縁テープなどの絶縁物で保護する。
- ↓ 小動物が侵入したキュービクル扉の隙間のうち63%は10mm以上の隙間がありました。そうした隙間は特に設置後25年を経過したキュービクルに多く見られます。また、設置後の年数が短いキュービクルでも設置箇所の地盤沈下等により本体が歪むことで隙間ができる場合があります。対策として扉の隙間を測定し隙間に応じた隙間テープを貼ります(写真7・8)。



写真10 接続金具等が露出した高圧充電部を絶縁テープにて保護(変流器の高圧端子部の例)



写真9 キュービクル扉の隙間対策(隙間テープを貼って改修した例)

● 高圧負荷開閉器等（LBS、DS）には相間、側面バリアを設置して小動物の接触による短絡（ショート）事故を防止する
 写真11・12。



写真11 相間側面バリアがないために機器の焼損に発展



写真12 相間側面バリアを設置

（2）構内柱がある場合の対策（カラス）

● 鳥類飛来防止装置を設置する。一例としてバードストッパー（ピン）の場合、カラス（ピン）の場合、カラスがとまる柱上腕木等へ、W型のピンを配することでカラスがとまらないようにする

写真13。

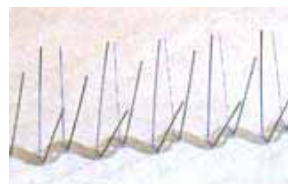


写真13 バードストッパー（ピン）

● テグスを張る。カラスがとまりそうな場所にテグスを張り巡らせ、テグスに翼があたって飛来できないようにする

写真14。



写真14 防鳥用テグス

3. 高圧停電事故の影響

小動物が原因である停電事故の復旧は、平均85分（平成25年度）を要しており、突発的な停電によりお客さまに影響が出るだけでなく近隣へ停電を波及させてしまった（波及事故）場合には、社会的信用の失墜にもつながりかねません（写真15）。

また、（写真16）「小動物接触による停電事故の復旧時間」では、停電復旧に2時間以上かかるケースが見受けられますが、これは小動物が接触したことが原因で、高圧機器が焼損および破損し高圧機器の取り替え工事が

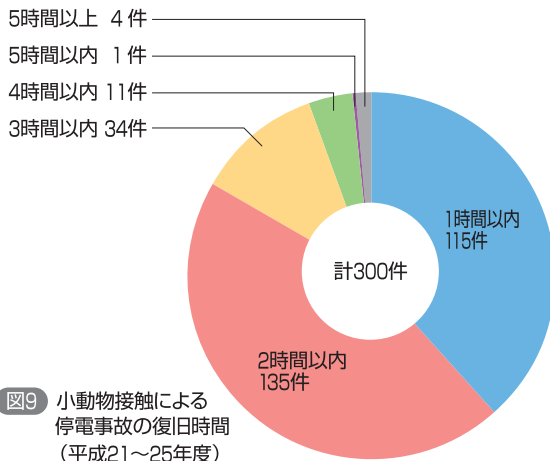


図9 小動物接触による停電事故の復旧時間（平成21～25年度）

伴ったためです。この場合は、長時間の停電のための損失と共に多額の改修費用を要するため、たかが小動物、とは言え大きな損害を被ることになります。

おわりに

当協会では、お客さまに安全、安心、快適に電気を使用していただくために、小動物侵入箇所の改修が必要なお客さまに対し、親切丁寧な提案を行い改修についてのサポートを行っています。具体的な改修方法につきましても、当協会担当技術員にご相談いただき、高圧停電事故を発生させない取り組みについての理解とご協力をお願いします。

■電気事故防止強調月間(8月)について

関西電力株式会社 電力流通事業本部
ネットワーク技術運用グループ

弊社管内において、平成24年度に配電線への接触による感電事故が多発したことを受け、平成26年度から新たに毎年8月を電気事故防止強調月間に設定しました。建築、土木、塗装、伐採、仮足場、各種講習会、官公庁や自治体等への定期的なPR活動に加え、電気事故の防止に関するさまざまなPR活動を強化しますので、引き続き、「ご理解とご協力をお願いいたします。」

平成24年度は、工事現場において、配電線への接触による感電死傷事故が多発しましたが、平成25年度におきましては、樹木伐採作業中の感電事故1件のみであり、この状況については、弊社のPR活動に際して、関係者様のご理解とご協力によるものと考えております。

しかしながら、依然として感電事故が発生している状況を踏まえて、引き続き、地道なPR活動と、より一層、防護管の必要性や電気設備の正しい知識を持つていただくことが必要であることから、感電事故の未然防止に関する新たな取り組みを検討しましたので、紹介いたします。

【感電事故防止の新たな取り組み】

①感電事故防止に関する動画配信

感電事故を起こさないためのPRツールとして、弊社のホームページおよび公式YouTubeチャンネルへ感電事故に関する注意喚起(基本篇〈図1〉)や感電災害事例(クレーン作業篇 建築足場

作業篇〈図2〉、樹木伐採作業篇)を掲載し配信しております。下記のQRコードからも閲覧できますので、ご活用いただけます。ようお願いいたします。

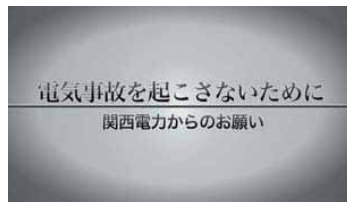


図1 基本篇



図2 建築足場作業篇

②臨時電気使用申込書の改善

弊社への防護管取り付けのご依頼がない場合に感電事故が発生したことから、このような事例を未然に防止するため、臨時電気のご使用に関する申し込み時に重機、クレーン等の使用有無や建築用足場の組み上げ有無、防護管の取り付け要否を確認させていただき、必要に応じて防護管の取り付けに関する連絡先の情報をいただいています〈図3〉。

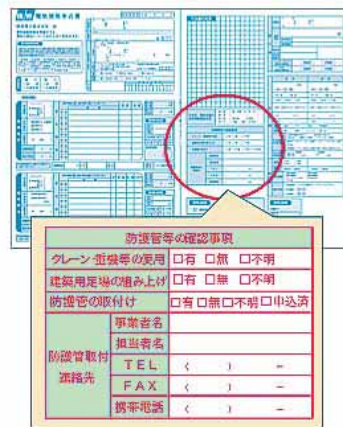


図3 臨時電気使用申込書

③PRパンフレットの改善

過去に発生した感電災害事例の紹介や電気に関する説明を掲載したPRパンフレット〈図4〉を、建築、土木、塗装、伐採、仮足場、各種講習会、官公庁や自治体等へのPRの場を活用し、配布しております。

電気設備での感電死傷事故が多発しています！

事故事例

- 平成24年度 家庭の外壁および屋根洗浄作業中に、作業員の方の頭部が引込線接続部分に接触し感電した。
- 平成24年度 戸建住宅塗装工事中に、作業員の方が引込線接続部分に触れて感電した。
- 平成24年度 工事用足場組み立て作業中に、作業員が養生シートをかけようとした際、誤って右手のひらが高圧線に触れて感電し、直射と感電を火傷した。

このような災害が足場の中に入っている場合は、防護管の取付をお願いします。

高圧線が足場の中を貫通している。

安全に作業していただくための打合せおよび必要に応じた現場調査、防護管の取り付け(配電線対象)を無料でさせていただきます。

図4 PRパンフレット

感電事故防止に関する動画を配信中

下記QRコードからアクセスのうえご利用ください

公式 YouTube

ホームページ

【お願い事項】

配電線付近での重機、クレーン等の使用や仮足場を設置して工事施工される場合には、計画段階において、できるだけ早く弊社営業所までご連絡をお願いいたします。ご連絡をいただき次第、お客さまのご希望に応じた防護管の取り付けを「無料」で行います。また、必要に応じて工事現場での打ち合わせ、調査等をいたします。

なお、防護管につきましては、「応急処置」であり、絶対に直接触れることのないようご注意ください。また、防護管の外れやズレ等を発見された場合には、無理な作業や操作はせず、作業を中断していただき、弊社営業所までご連絡をいただくと重なお願いたします。関係者様におかれましては、引き続き、感電事故の未然防止について、ご理解とご協力をお願いいたします。

■スマートフォン対応サイトのお知らせ

当協会ホームページの
スマートフォン対応のサイトを
開設しました!!

平成26年7月からスマートフォン対応のサイトを用意しました。スマートフォンをお使いの皆さまがその場ですぐに確認したい情報が見られるなど、出先等での閲覧に便利です。どうぞご利用ください。

スマートフォンをお持ちの方は、ぜひ一度ご覧ください。



★スマートフォン対応サイトを見るにはスマートフォンから当協会のホームページ (<http://www.ksdh.or.jp>) にアクセスしてください。自動的にスマートフォン対応サイトが表示されます。検索エンジンで「関西電気保安協会」や「ksdh」と検索していただくと簡単です。

※画像は開発中のものです。

■リコール情報

経済産業省、各事業者から公開されているリコール情報をお知らせします。

電気事故防止のため、早急な回収にご協力をお願いいたします。

期 間:平成26年4月16日～5月28日に発表されたもの

発表者:経済産業省

下表は、経済産業省ホームページのリコール情報に掲載されたもので、電気製品で電気事故、電気災害に至ると考えられるもののみです。リコールの詳細は、事業者リコール情報URLを参照ください。

番号	リコール実施日／製品名／事業者名	リコール実施の理由／事業者リコール情報URL
1	2014年4月17日 電気カーペット パナソニック株式会社	コントローラー内部の部品が過熱し、床などを焦がすおそれがあるため。 http://panasonic.co.jp/ap/
2	2014年4月17日 電気ケトル 株式会社グループセブジャパン	空焚き防止装置の接点部品が変形した不良品が混入したため、空焚きした際に適切に作動せずヒーターが異常加熱し、発煙・発火に至る可能性があるため。 http://www.club.t-fal.co.jp/customer_service/info/kettle-140417/
3	2014年4月24日 ノートパソコン ソニー株式会社	バッテリーパックの不具合により、当該バッテリーパックが過熱してPC本体の一部が焼損に至る可能性があるため。 http://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/ServiceArea/140424/index.html
4	2014年5月15日 コーヒーメーカー 株式会社カリタ	当該製品を使用時に発煙、発火に至るおそれがあるため。 http://www.kalita.co.jp/apology
5	2014年5月19日 電気衣類乾燥機 三洋電機株式会社	当該製品の制御基板部に水分が浸入した際に、部品内部でトラッキング現象が発生し、発煙、発火に至るおそれがあるため。 http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/140519.html
6	2014年5月20日 電気用品安全法に違反した製品 コーナン商事株式会社	電気用品安全法に定める商品の安全性に関わる義務を果たしていないと判断したため。 http://www.hc-kohnan.com/important/images/2014.05.19_owabitojisjukaisyu.pdf
7	2014年5月28日 ノートパソコン用バッテリーパック パナソニック株式会社	製造上の不具合により、発煙・発火に至るおそれがあるため。 http://askpc.panasonic.co.jp/info/140528.html
8	2014年5月28日 レーザープリンター(NECブランド) 富士ゼロックス株式会社	当該製品のトナー加熱定着器の製造上の不具合により、発火に至るおそれがあるため。 http://www.fujixerox.co.jp/company/news/notice/

電気講習会を開催中 自家用電気設備対象コース



主に自家用電気設備に関わる経営者・設備管理者・電気主任技術者・保守管理会社等の皆さまを対象として、節電・省エネルギー、電気の事故防止や設備保全などの講義をいたします。

入門編 開催スケジュール (定員30名)

開催日時	開催場所	主催支店
平成26年7月7日(月) 13:30~15:30	池田市民文化会館 中会議室 大阪府池田市天神1-7-1	大阪北支店 TEL:06-6386-4752
平成26年7月9日(水) 13:30~14:00	兵庫県中央労働センター 兵庫県神戸市中央区下山手通6-3-28	神戸支店 TEL:078-882-3471
平成26年7月10日(木) 13:30~16:00	アスピアやましろ ホール 京都府木津川市山城町前田24	京都支店 TEL:075-541-5375
平成26年7月11日(金) 13:30~16:00	京都JA会館 506会議室 京都府京都市南区東九条西山王町1	京都支店 TEL:075-541-5375
平成26年7月11日(金) 14:30~16:00	U・コミュニティホール 6F ホールL 大阪府東大阪市御厨栄町1-3-30	大阪南支店 TEL:072-260-0350
平成26年7月17日(木) 13:30~16:00	ホテルルビノ京都堀川 3F朱雀の間 京都府京都市上京区東堀川通下長者町	京都支店 TEL:075-541-5375
平成26年7月23日(水) 13:30~15:30	明石市立産業交流センター 4階 研修室2 兵庫県明石市大久保ゆりのき通1-4-7	神戸支店 TEL:078-882-3471
平成26年7月24日(木) 14:00~16:00	琵琶湖ホテル 2Fオレンジブラウン 滋賀県大津市浜町2-40	滋賀支店 TEL:077-525-1421
平成26年7月25日(金) 14:00~16:00	ホテルニューオウミ 2F小宴会場 滋賀県近江八幡市鷹飼町1481	滋賀支店 TEL:077-525-1421
平成26年7月29日(火) 14:00~16:00	滋賀県立文化産業交流会館 滋賀県米原市下多良二丁目137	滋賀支店 TEL:077-525-1421
平成26年8月5日(火) 13:30~16:00	たつの青少年会館 兵庫県たつの市龍野町富永	姫路支店 TEL:079-235-7133
平成26年8月8日(金) 13:30~16:00	姫路市民会館 第一教室 兵庫県姫路市総社本町112番地	姫路支店 TEL:079-235-7133
平成26年8月20日(水) 13:30~16:00	豊岡市市民会館 大会議室 兵庫県豊岡市立野町20-34	姫路支店 TEL:079-235-7133
平成26年8月22日(金) 13:30~16:00	加古川市勤労会館 301会議室 兵庫県加古川市野口町良野1739	姫路支店 TEL:079-235-7133
平成26年8月29日(金) 14:30~16:00	ホテル・アゴーラ リージェンシー堺 3F 葵 大阪府堺市堺区戎島町4-45-1	大阪南支店 TEL:072-260-0350
平成26年9月3日(水) 14:30~16:00	浪切ホール 4F 研修室1 大阪府岸和田市港緑町1-1	大阪南支店 TEL:072-260-0350
平成26年10月31日(金) 13:30~16:00	やしろ国際学習塾 中会議室 兵庫県加東市上三草1175	姫路支店 TEL:079-235-7133

応用編 開催スケジュール (定員30名)

開催日時	開催場所	主催支店
平成26年7月1日(火) 13:30~15:30	守口市立中央公民館 4階 第3会議室 大阪府守口市京阪本通2-14-1	大阪北支店 TEL:06-6386-4752
平成26年7月22日(火) 13:30~15:30	吹田メイシアター 1F 集会室 大阪府吹田市泉町2-29-1	大阪北支店 TEL:06-6386-4752
平成26年7月25日(金) 14:30~16:00	天王寺 都ホテル 5F 高取の間 大阪府大阪市阿倍野区松崎町1-2-8	大阪南支店 TEL:072-260-0350
平成26年7月29日(火) 13:00~15:30	洲本市民交流センター 兵庫県洲本市宇原1788-1	神戸支店 TEL:078-882-3471
平成26年8月11日(月) 14:30~16:00	八尾商工会議所 3F 大ホール2 大阪府八尾市清水町1-1-6	大阪南支店 TEL:072-260-0350
平成26年9月26日(金) 14:30~16:00	天王寺 都ホテル 5F 高取の間 大阪府大阪市阿倍野区松崎町1-2-8	大阪南支店 TEL:072-260-0350

講義内容や最新スケジュールなどは当協会ホームページに掲載しています。お申し込みもホームページからお願いいたします。
(<http://www.ksdh.or.jp>)

平成26年度 「安全衛生特別教育・技術講習会」のご案内

有料
教育



保護継電器取り扱い実習風景

[安全衛生特別教育]

当協会では、各コース日程のとおり安全衛生特別教育を開催しています。当協会の実習設備を使用し、お客さま従業員の方々への安全衛生特別教育を実施します。皆さまのお申し込みをお待ちしております。

A コース 高圧・特別高圧電気取扱者 安全衛生特別教育

■対象：充電電路の操作業務のみを行う方
■教育実施時間：講義11時間、実技1時間
■定員：22名 ■受講料：19,000円(税別)

第6回 平成26年 9月9日(火)～9月10日(水)
第7回 平成26年 10月22日(水)～10月23日(木)
第8回 平成26年 12月10日(水)～12月11日(木)
第9回 平成26年 12月24日(水)～12月25日(木)
第10回 平成27年 1月14日(水)～1月15日(木)
第11回 平成27年 1月21日(水)～1月22日(木)
第12回 平成27年 2月9日(月)～2月10日(火)

B コース 高圧・特別高圧電気取扱者 安全衛生特別教育

■対象：充電電路またはその支持物の敷設
作業等の業務を行う方
■教育実施時間：講義11時間、実技15時間
■定員：20名 ■受講料：36,000円(税別)

第2回 平成27年 2月17日(火)～2月20日(金)

C コース 低圧電気取扱者 安全衛生特別教育

■対象：開閉器の操作業務のみを行う方
■教育実施時間：講義7時間、実技1時間
■定員：30名 ■受講料：9,000円(税別)

第3回 平成26年 11月21日(金)
第4回 平成27年 2月25日(水)

D コース 低圧電気取扱者 安全衛生特別教育

■対象：充電電路の敷設、
もしくは修理等の業務を行う方
■教育実施時間：講義7時間、実技7時間
■定員：30名 ■受講料：17,000円(税別)

第4回 平成26年 11月18日(火)～11月19日(水)
第5回 平成26年 12月18日(木)～12月19日(金)
第6回 平成27年 1月27日(火)～1月28日(水)
第7回 平成27年 3月5日(木)～3月6日(金)

E コース 電気工事作業指揮者安全教育

■対象：電気工事作業指揮を行う方
■教育実施時間：講義6時間、実技なし
■定員：30名 ■受講料：7,000円(税別)

第1回 平成26年 10月7日(火)

[技術講習会]

F コース 保護継電器取扱実習初級コース

■内容：各種保護継電器について、
実習を重点に取扱方法を習得する
■教育実施時間：講義2時間、実技4時間
■定員：20名 ■受講料：19,000円(税別)

第1回 平成26年 11月26日(水)

G コース 電気設備管理実務コース

■内容：電気設備の管理実務を、
実習用受電設備を使用して実習する
■教育実施時間：講義2時間、実技4時間

今年度のお申し込みは終了しました。

- 開催場所(全コース共通) 大阪市西区北堀江3-1-16
- お問い合わせ先(協会本店内) 技術研修センター Tel 06-6363-1361

お申し込みは、協会ホームページ
からよろしくお願いします。

マルチモニターシステムのご紹介

本システムは電力監視や設備運転の状況確認および制御など、お客様の設備に合った監視ニーズを複数の監視装置(ユニット)を組み合わせることで、低コストで多機能監視を行うことができます。お手軽な手数料で、お客様設備の使用状態を監視して、データ管理や分析が行えます。経費削減の一助にご活用ください。



マルチモニター本体

お客様の要望に応じ、ユニットを組み合わせることで監視項目を設定させていただきます。



コントロールパネル

操作が簡単で便利なタブレットもご利用いただけます。

【お客様メリット】



停電による突発的な損失・出費を抑制



点検、更新コストを削減



感電事故、火災事故を防止



エネルギーの「見える化」を実現



電源異常を瞬時に発見

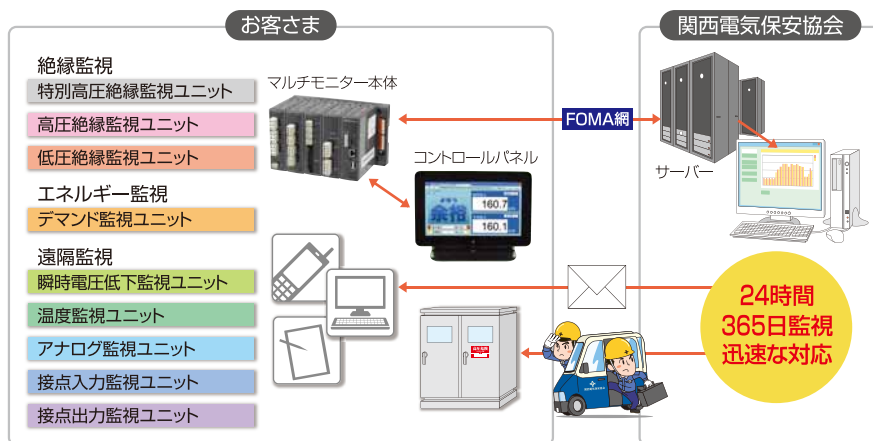


遠隔監視で人件費コストを削減

マルチモニターシステムの特長

- 各監視項目に適した高精度なユニットでシステムを構成することで、将来の電気設備の拡張にも柔軟に対応することが可能です。
- 警報発生時には、事前に登録されたお客様の携帯電話など、10箇所同時にメールで警報発生をお知らせすることができます。
- コントロールパネルからの操作機能の充実、監視データの自動収集機能によりお客様へデータのフィードバック等、設備の予防保全や機器の効率使用にご活用いただけます。

システム構成のイメージ



24時間365日お客様設備を見守り、安全・安心・快適をお届けします

最適な監視サービスをご提案させていただきます。詳しくは担当技術員へご相談ください。



ホアンくん